



ZABBIX
CERTIFIED PARTNER

Zabbix 5.0を使っているかたは必見!

最新版のZabbixにバージョンアップしよう ~Zabbix 7.0へのバージョンアップ方法と賢く乗り切る勘所~

Zabbix Conference Japan 2024 Webinar
2024年11月19日(火)

本日の アジェンダ

1

バージョンアップ作業概要

2

薬ではないです

バージョンアップ作業

3

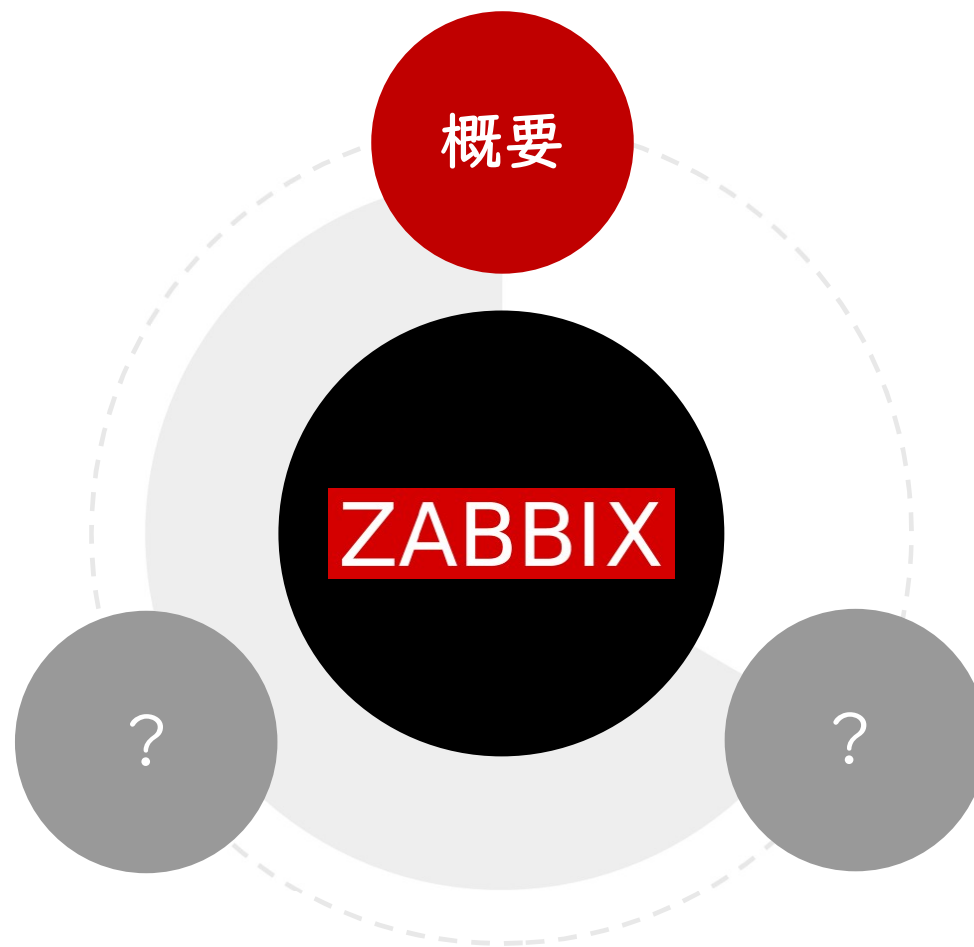
当社が実施している
支援内容のご紹介

4

アークシステムのご紹介



バージョンアップ 作業の概要



計画してありますか？ Zabbixのバージョンアップ

Zabbix 5.0 LTSのEOSLまで、**あと6カ月！**

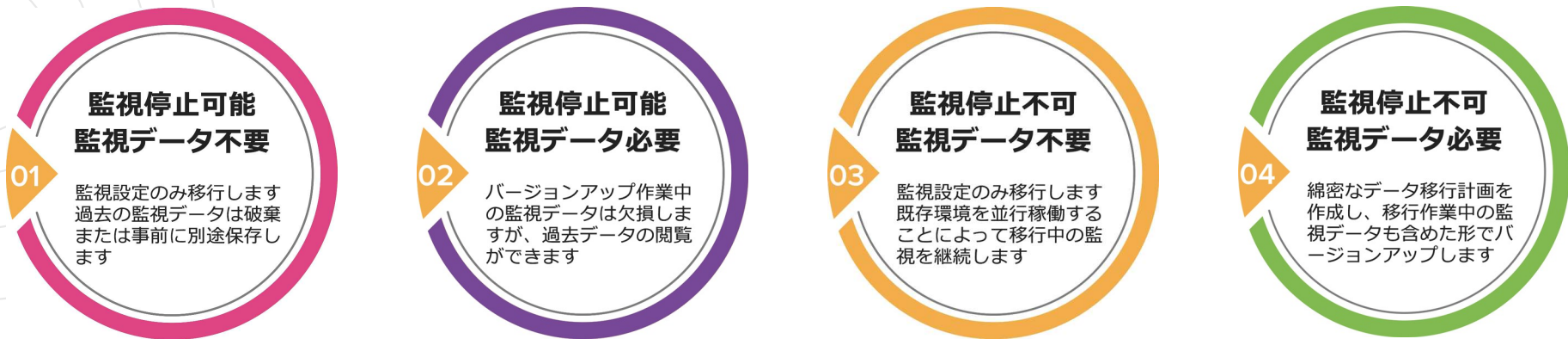
バージョン	リリース日	フルサポート終了	リミテッドサポート終了
Zabbix 4.0 LTS	2018年5月	2021年10月	× 2023年10月 ×
Zabbix 5.0 LTS	2020年5月	2023年5月	! 2025年5月 !
Zabbix 6.0 LTS	2022年2月	2025年2月	2027年2月
Zabbix 7.0 LTS	2024年6月	2027年6月	2029年6月

- ✓ バージョン4.0 はバグフィックスなどが提供されません
- ✓ バージョン5.0 も予算申請の時期を踏まえてご計画ください

当社には、Zabbix 7.0へのバージョンアップ依頼が多く来ています。

バージョンアップ作業の規模感は？

おおきく **4パターン** に分類できます。

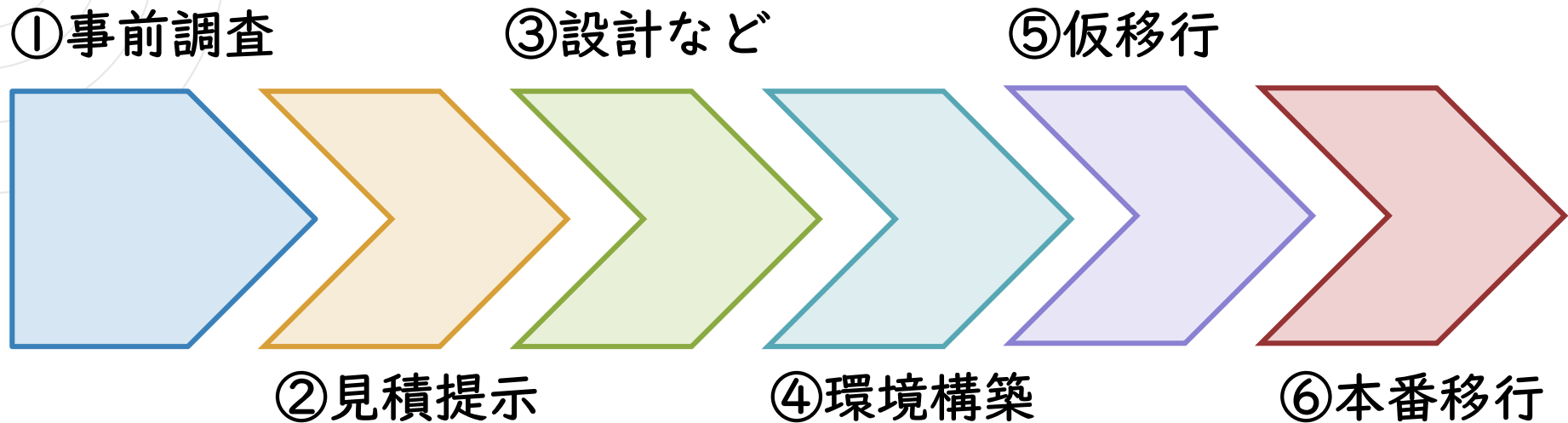


- ✓ 監視システムを一時停止できるか。
- ✓ 監視（履歴）データを移行するか。→ヒストリ・トレンドの移行

バージョンアップに掛かる時間はデータベースに保存されているデータ量に依存するため、検証をしないとお見積りが提示できない。
→上記ご理解の上、①番のパターンになるお客様が多い。

バージョンアップ作業おおまかな流れ

お客様ご要望によって**プランのカスタマイズも実施**していますが、おおまかな作業の流れは以下のとおりです。



「安全」「确实」を重視したプランでご提示します。

本番切替方式の種類

- ① 一括切替方式（IPアドレスやDNSを使用した切替）
監視対象の台数が多い場合にお勧めする方式。
一括で切り替わるため、切り替え後の疎通確認が後手にまわる。

移行前
(旧バージョン)



移行後
(新バージョン)



IPアドレスの
入れ替えが発生



監視対象側の変更なし

本番切替方式の種類

- ② 並行稼働方式（監視対象側を1台ずつ切替する方式）
監視対象の切替を安全かつ丁寧に進めていく方式。
Zabbixエージェントを1台ずつ設定変更するため、時間が掛かる。

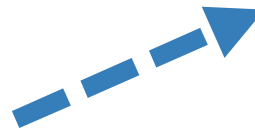
ZABBIX

移行前
(旧バージョン)



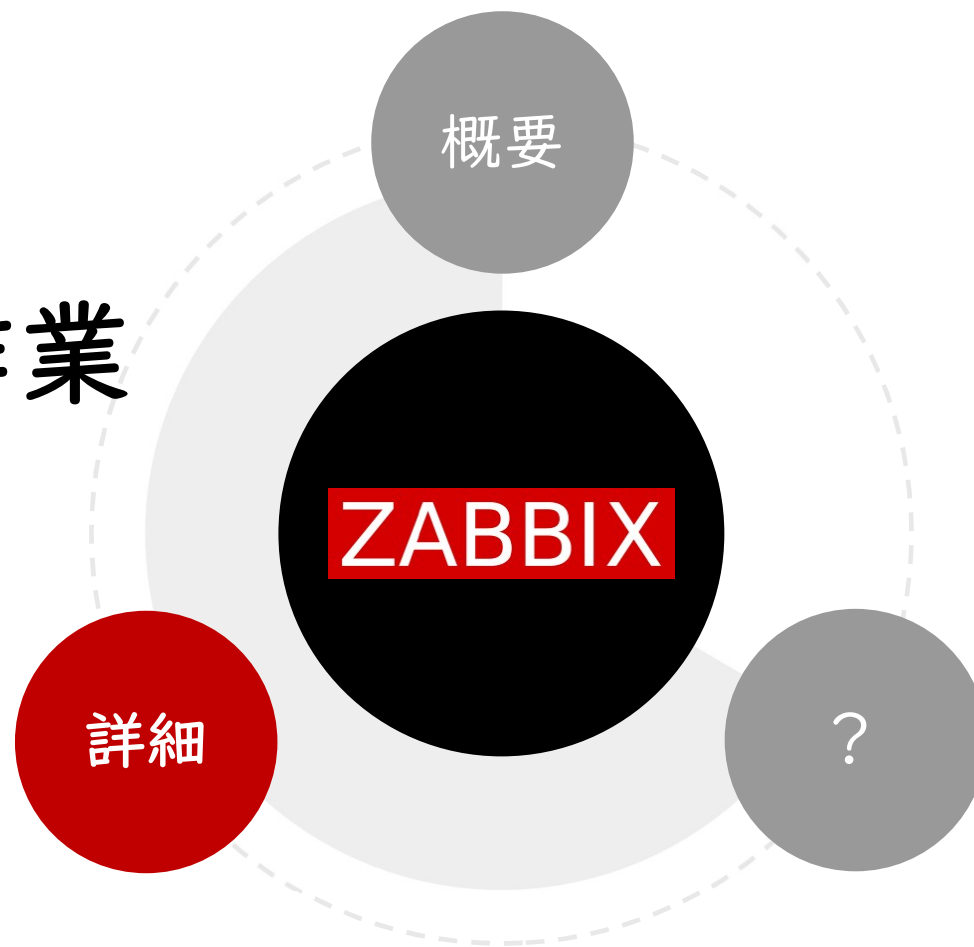
ZABBIX

移行後
(新バージョン)



zabbix_agentd.confの書換えや
SNMPトラップ送信先の変更が必要

楽ではないです
バージョンアップ作業



いろいろ考えます。バージョンアップ+α

- ✓ 大抵の場合、OSとミドルウェアの同時バージョンアップになります
- ✓ 自動更新できる部分と手動更新が必要な部分があります
- ✓ ZabbixサーバーとZabbixプロキシのバージョンは揃えないと
※バージョンを揃えることを強く推奨（機能制限あり）
- ✓ Zabbixエージェントのバージョンアップは必要ですか？
- ✓ Zabbixエージェント監視が多い場合、どこまでテストしますか？
- ✓ Zabbix APIやSQLによるZabbixデータベース直接参照をしています
- ✓ 乱立したZabbixサーバーを1台のZabbixサーバーに集約したい
- ✓ シングルサーバー構成だと不安なので、この機会に冗長化したい
- ✓ なんとなく画面が重いので、データベースをパーティショニングしたい
- ✓ 監視パラメータシートが初期構築時点から全くメンテされていません



大抵の場合、OSとミドルウェアを同時更新する

- ✓ Zabbix 7.0 LTSと一番親和性が高いOSは、Red Hat Enterprise Linux 9.x
OSの保守サポート契約まで考えていくと、この選択肢が一番無難なチョイス
- ✓ 2032年5月まで、OSや提供ミドルウェアがサポートされる

ミドルウェア	取得元リポジトリ	EOSL
Apache httpd 2.4	rhel-9-for-x86_64-appstream-rpms	2032年5月
php 8.0	rhel-9-for-x86_64-appstream-rpms	2032年5月
MariaDB 10.5	rhel-9-for-x86_64-appstream-rpms	2032年5月
PostgreSQL 13	rhel-9-for-x86_64-appstream-rpms	2032年5月
MySQL 8.0	rhel-9-for-x86_64-appstream-rpms	2026年4月

Zabbix 7.0のEOSL (2029年6月) を基準に考えると、MySQLの選択肢は正直厳しい

大 抵の場合、OSとミドルウェアを同時更新する

- ✓ Zabbix公式によるサポートされるデータベースのバージョン

ミドルウェア	Zabbix 4.0	Zabbix 5.0	Zabbix 6.0	Zabbix 7.0
MariaDB	動作する	10.0.37以降	10.5.00~10.8.X	10.5.00~11.3.X
PostgreSQL	8.1以降	9.2.24以降	13.0~15.X	13.0~16.X
TimescaleDB	-	・Zabbix 5.0.0-5.0.9: 1.x, OSS (free) version ・Zabbix 5.0.10: 1.x, 2.x	2.0.1~2.8	2.1.0~2.14.X
MySQL	5.0.3~8.0.x	5.5.62~8.0.x	8.0.X	8.0.30~8.3.X

データベースエンジンのバージョンアップが必須となり、同時にOSのバージョンアップも実施することになる

※Zabbix 7.0からOracleも非推奨になりました

自動更新できる部分と手動更新が必要なもの

- ✓ Zabbixのバージョンアップ時に監視設定が自動更新される部分と手動更新が必要なものが存在し、バージョンアップの前には必ず監視設定の調査が必要

自動更新できる部分（例）

- ✓ データベースの更新 (Schema)
- ✓ {TRIGGER.NAME} → {EVENT.NAME}
- ✓ アプリケーション名はタグ名に変更
- ✓ Zabbixアグリゲートは計算アイテムに変更
- ✓ 計算アイテム式の記述方法
- ✓ トリガー条件式の記述方法

手動更新が必要なもの（例）

- ✓ アクションのカスタム条件式 (無効になる)
- ✓ 「メンテナンス期間 = 期間外」のアクション
- ✓ 「トリガーの値 = 障害」のアクション
- ✓ 位置 (ポジショナル) マクロ (\$1, \$2~\$9)
- ✓ {TRIGGER.XXX} → {EVENT.XXX}
- ✓ 正規表現 (POSIX拡張 → PCRE → PCRE2)

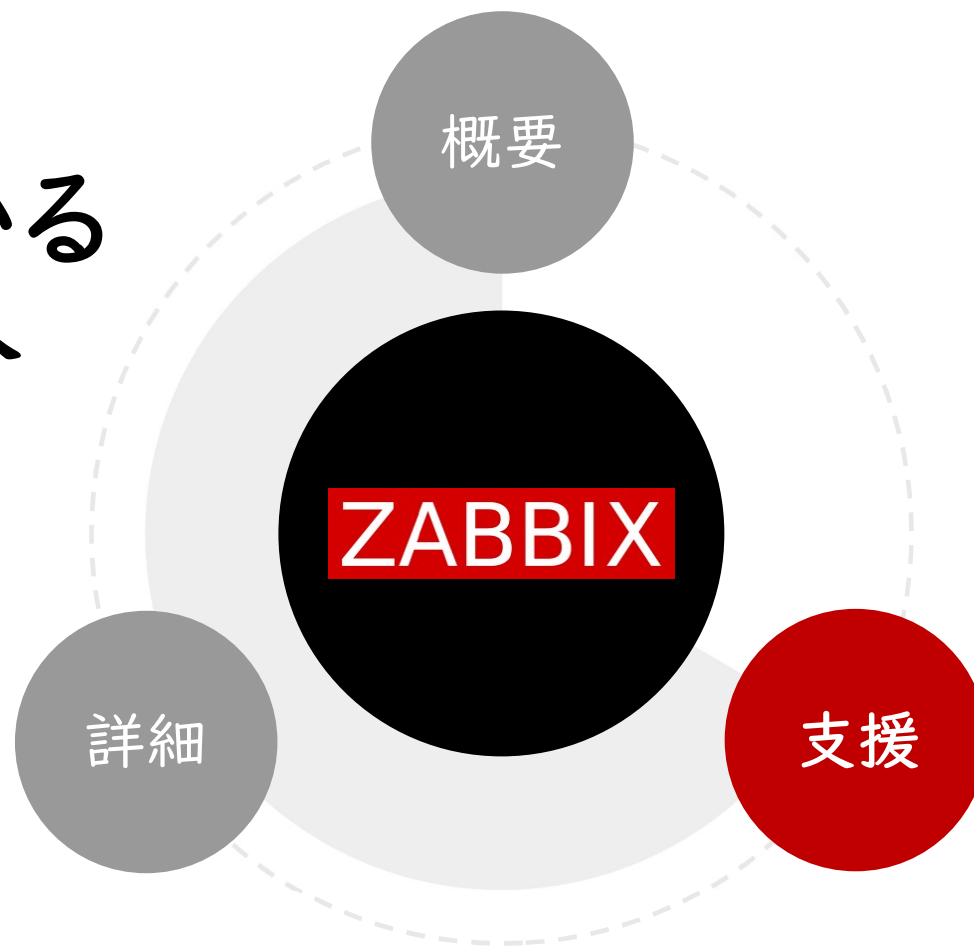
エージェントのバージョンアップは必要か

- ✓ Zabbixエージェントのバージョンは古くても問題ないケースが多い
 - ✓ 原則として、Zabbixエージェントのバージョンアップを**推奨**する
 - ✓ Zabbixエージェント 1.4 以降であれば、後方互換性あり
 - ✓ Zabbix 3.0 を境にログ取得パラメータの変更があったため、設定内容を確認の上で動作確認を実施したほうが良い
 - ✓ 正規表現の変更 (POSIX互換→PCRE→PCRE2) に関する影響を受ける
 - ✓ log[], logrt[] アイテムキーへの影響
 - ✓ エージェント 5.0までを使用し続ける場合、PCREのままで良い
 - ✓ エージェント 6.0を使用する場合は、PCRE2に対応させる

エージェント監視が多い場合、どこまでテスト？

- ✓ Zabbixエージェント監視が多い環境では、1台ずつテストするのが大変
 - ✓ 新サーバーへの切替を一括切替で実施するか、並行稼働で実施するかの判断基準
 - ✓ 一括切替方式 (IPアドレスやDNSを使用した切替)
 - ✓ 並行稼働方式 (監視対象側を1台ずつ切替する方式)
 - ✓ どちらの方式でも、最終的に1台ずつ確認することには変わらない
 - ✓ 多少のテスト自動化は出来ても、テスト結果報告書の確認作業は存在する
 - ✓ 出力頻度の低いログ監視内容の確認には、とても時間が掛かる
 - ✓ 本番運用環境下でのトリガー発報確認は、現実的に厳しい
 - ✓ 個別に追加した監視設定が多い (標準化されていない) 場合は、より複雑になる
 - ✓ 開発・検証環境を持っていない場合は、より顕著にこの傾向がでる

当社が実施している
支援内容のご紹介



当社が実施している支援内容のご紹介

① 質疑応答のみ支援

バージョンアップ作業そのものをお客様にて実施していただくパターンです。メール等で質問をいただき、お客様の課題にお答えいたします。

「Zabbixサポートプラス」契約をしていただく形でサービス提供しています。



② バージョンアップ手順書の提供のみ

お客様環境の設定バックアップファイルを一時的に提供いただき、当社内環境でフィジビリティ検証を実施後、バージョンアップ手順書を提供いたします。

出来合いの手順書ではなく、**検証されている手順書**ですので安心・安全。

当社が実施している支援内容のご紹介

③ まるごとおまかせ

お客様環境をお借りして**当社ですべてバージョンアップする**パターンです。開発・検証環境をお持ちでないお客様向けには、一時的に当社環境で作業します。OSやネットワーク環境の準備のみお客様で。というケースもあります。

クオリティ重視・コスト重視など、**プランのご相談から承ります。**

④ 監視対象100台未満の環境であればこちらも

当社標準化パッケージ「**まるごとおまかせZabbix 快速Z**」や**Zabbixアプライアンスへのリプレイス**でリーズナブルに。

Zabbix標準テンプレートのみで監視をしている、ほぼエージェントレス監視の環境である。このようなお客様向けには**コストメリットが出ます。**

快速Z

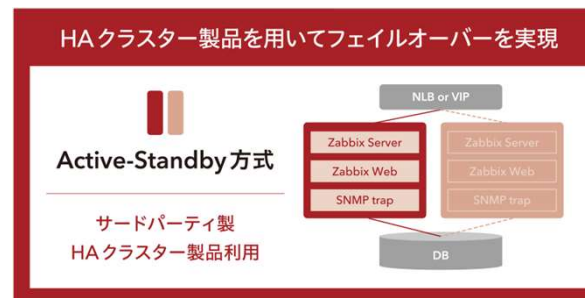
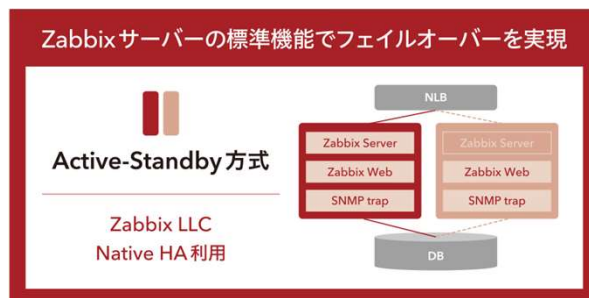


バージョンアップと同時に拡張・改善

シングルサーバー構成だと不安だ。

3つの方式を提供可能。この機会に冗長化しませんか？

- ✓ Zabbix LLC NativeHA / Active-Standby方式
- ✓ HAクラスター製品利用 / Active-Standby方式
- ✓ Zabbix Japan LLC 設定バックアップ同期ツール / Active-Active方式



バージョンアップと同時に拡張・改善

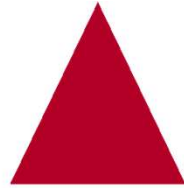
データベースのパーティショニングで快適な画面操作を。
パーティショニングの要否含め、ご提案いたします。

- ✓ Zabbixの過去データ削除シナリオ(ハウスキーパー)は大量の監視データに対してサーバー負荷を発生させます(定期的にハウスキーパーが動作しています)
- ✓ 過去データ(ヒストリ・トレンド)の保存期間が長期にわたる
- ✓ 監視アイテム数が多く、保存期間を短くしても性能が出ない
- ✓ ハウスキーパーのチューニングをしても性能が出ない

バージョンアップと同時に拡張・改善

監視対象システムのクラウドリフトが進んでいる。
Zabbixもクラウドにリフトし、統合監視環境を構築したい。

- ✓ 構築当初は、オンプレミス環境の監視のみで良かった
しかし、ここ数年で監視対象のクラウド移行が進んでいるため、Zabbixも移行したい
 - ✓ 従来から使ってきたZabbixに加え、AWS CloudWatchやAzure Monitorを覚えるのが大変である。かつ、複数の画面をモニターする運用側の負荷も上がっている
 - ✓ クラウド環境におけるマネージドサービスをどう監視したら良いかわからない
 - ✓ Zabbix 7.0 でもAWSやAzureの標準テンプレートが増えた。これを使ってみたい
- ※Zabbixが標準サポートしていないメトリック収集も個別に作成を承ります



アークシステムのご紹介

～お客様のそばで、お客様のためのITを～

株式会社 **社** アークシステム

会 概要

設立

1986年7月1日

株主

株式会社シーエーシー

資本金

1億5,000万円

代表取締役

戸北 宗朋

アークシステムは、神戸製鋼とリクルートを母体に設立されたSEサービスのプロフェッショナル集団です。

エンタープライズシステムにとって必要な技術「**インフラ構築**」「**運用管理**」「**アプリ開発**」を組み合わせ、最適なソリューションを提供いたします。

現在はCACグループの一員としてシステム基盤からアプリケーション開発まで、お客様のビジネス基盤を支えるITサービスをワンストップで提供しています。



infoARK

アーキシステムの強み

- ✓ **豊富なZabbix・構築プロジェクトの実績とノウハウ**
 - ✓ 小規模環境から監視対象数10,000台を超える大規模環境まで多くのZabbix構築・バージョンアップ実績に裏付けされたZabbixノウハウを保有
 - ✓ Zabbixに限らず多くの構築プロジェクトを手掛け、さまざまなテクノロジーやプロジェクト管理の知識・ノウハウを保有したエンジニアがZabbix構築・運用改善を支援
- ✓ **充実のサービスラインナップ**
 - ✓ 独自の構築パッケージサービスにより、安価かつスピーディーにZabbixが構築できるサービスを展開
 - ✓ お客様独自要件に対応したフルカスタマイズや、部分的な監視設定代行にも対応
 - ✓ 大企業から中小企業まで、多くのお客様で利用されているZabbix公式サポートも展開



ご清聴いただき、 誠にありがとうございました。

当社サービスにご興味がありましたら、
お気軽にお問い合わせください。

-  株式会社アークシステム
-  東京都中央区日本橋箱崎町24-1
日本橋箱崎ビル11階, 〒103-0015
-  03-3666-8140
-  sales@arksystems.co.jp
-  <https://moz.arksystems.co.jp>

サービス詳細ページ



本資料の
ダウンロード



スライド内に記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。